

岡部定一郎「福岡城寸描」(24)

1. 福岡城の構え

天守閣(その1)

福岡城の心臓部に当たる本丸大地の10メートル上に、福岡城の象徴である天守閣が聳えている。その城郭のバランスこそが、ふるさとの誇りであり、心の底に何時までも残るすばらしい景色であるはずだ。どのような天守閣が建っていたのだろうか、歴史学者の間でも意見がバラバラで、悲しい現状である。

本年(平成23年)3月26日、福岡城のシンポジウムが開催された。テーマは、「福岡城の実像に迫る」である。5人の専門家の意見もやはりバラバラであった。

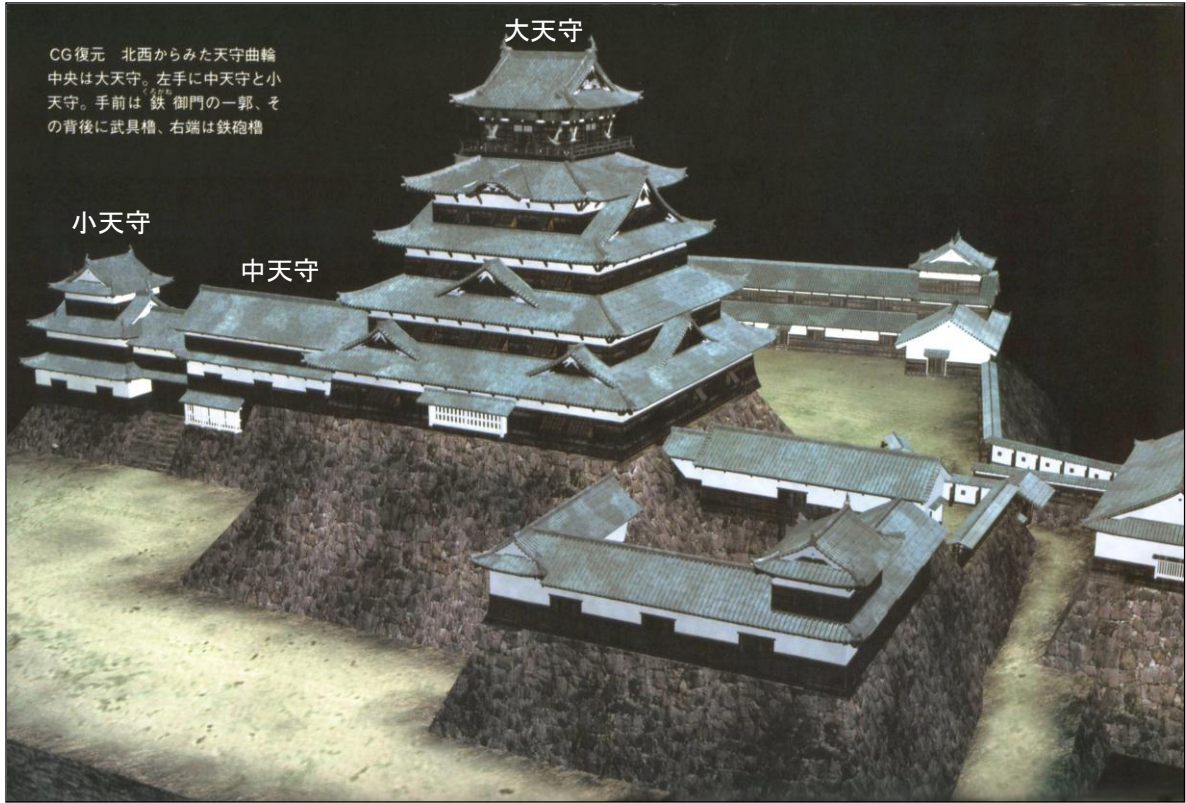
巨大なお城であるにもかかわらず、天守閣がない理由について、意見を要約すると、

- ① 建てる準備はしていたが、建てなかった。
- ② 文献比較上、建っていたが、徳川の政策によって解体し、大阪城へ？！
- ③ 3連結型の大天守閣・中天守閣・小天守閣が立派に建てられていたが、自主的に、元和6年(1616年)、黒田長政が破却した。等々であった。

我々、「福岡城市民の会」の事務局員は勿論、市民や学者、技術者、芸術家等々の中にも、天守閣に夢を託す人は多い。当会の「甦れ！福岡城」の活動にも様々な意見や励ましを頂いています。



大天守跡とその礎石群(佐藤正彦著「甦れ！幻の福岡城天守閣」より転載)



CG復元 北面からみた天守曲輪(佐藤正彦著「甦れ！幻の福岡城天守閣」より転載)



CG復元 小天守・中天守・大天守(佐藤正彦著「甦れ！幻の福岡城天守閣」より転載)